

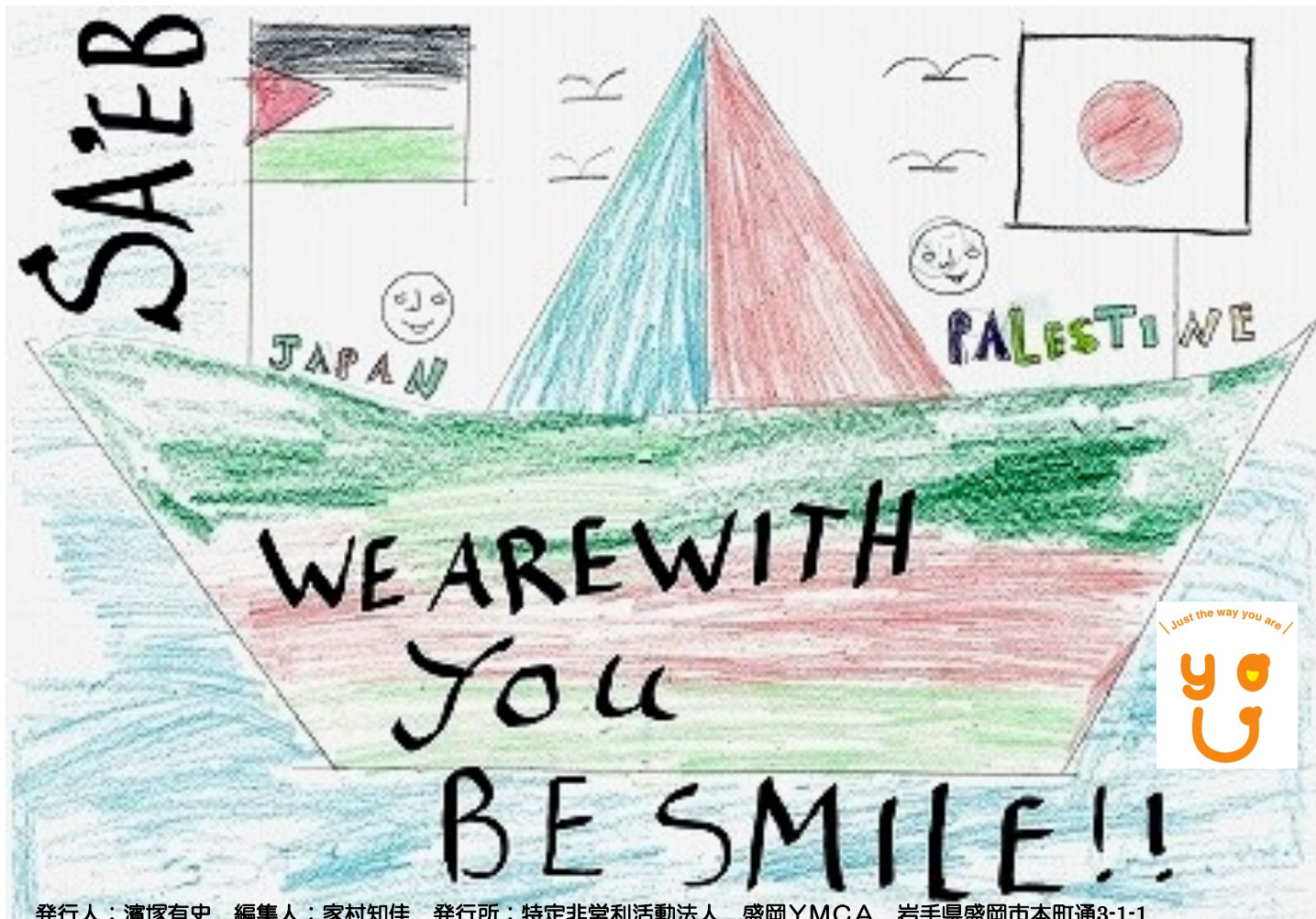
MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2014年8月号 パレスチナ・ガザへ緊急支援を！



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

※「この平和で神聖な場所から、いつも皆さんのことを思っています。」

Rami Shuhaibarkさん (ガザYMCAユースボランティア)

「空爆や爆撃が続く大変困難な状況の中ですが、私は自宅にいて無事です。ただ、ガザ地域全体がそうであるように、私自身の自宅にいても『安全』というものは存在せず、恐怖と死を常に感じています。

こうした事態に陥る前、ガザ地域は1日8時間、電気が通っていましたが、このように状況が悪化した今、電気は1日2時間しか通りません。こうして連絡を取り合うことがとても難しい状況です。

一体何が起きているのか、自分がどんな状況におかれているのかを知るため、可能な範囲でラジオやインターネットを使い、また近所の人からも情報収集をしています。

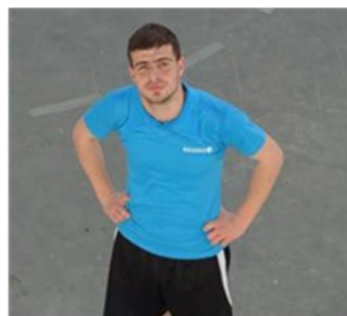
大変多くの若い人達が、怪我を負った人、危険な地域から逃れてきた人達のサポートをしています。私もそのサポートに加わりたと思うようになり、できれば、明日25日からでも早速参加しようと思っています。子ども達の心のケアにも携わりたいです。

私は、意識的に自分自身の心の状態を、良い時とそうでない時にこまめに切り替えています。しかし一番辛いのは感情が湧かなく

なることです。この争いが終わったら、人々への精神的なケアが欠かせないと思います。

過去にも3度にわたる大きな攻撃が2008、2009、2012年と行われてきました。今回の攻撃は、明らかに今までのものとは異なります。」

※ RamiさんはガザYMCA集う23歳の若者です。本来ならこの7月にアメリカで開催された世界YMCA大会に参加する予定でした。彼自身の身の安全を確保するのが大変困難な状況にありながら電話やfacebookを通じてスイスジュネーブにある世界YMCA同盟に近況を伝えてくれています。冒頭のタイトルは、そうしたRamiさんからのメッセージです。厳しい状況下でありながらも自分達の住む地を「平和で神聖な場所」と信じ、願っています。



パレスチナにも、イスラエルにも 盛岡とおなじようにYMCAがあります。！

緊急募金にご協力下さい！

7月8日から現在に至るまで、イスラエルのロケット弾によるパレスチナ・ガザ地区への攻撃が頻りに繰り返され、子ども達を含む多くの市民の命が犠牲となっています。この悲惨な状況下にあるガザ地区の人びとを支援するために、日本のYMCAは、世界のYMCAと共に、今後ガザ地区にあるガザYMCAが中心となって行う緊急支援活動を支えるための緊急募金の呼びかけを行います。皆さまのあたたかいご支援・ご協力を、心よりお願いいたします



(↑2014年7月8日 AP通信)

7月20日現在被害状況

(国連人道問題調整事務所発表)

死者 パレスチナ人375名(270名の市民そのうち83名は子ども、36名は女性)イスラエル人20名(2名の市民、18名の兵士)

負傷者 パレスチナ人 3,008名(904名は子ども、533名は女性) 10万人以上のパレスチナ人が住む場所を失い、その内8万4千人がUNRWA(国連パレスチナ難民救済事業機関)が運営する学校に避難、ガザ地区の43%が避難勧告や立ち入り禁止対象地域に

パレスチナ・イスラエルでのYMCAの活動

紛争の続くイスラエルとパレスチナ。その双方に私たちと同じようにYMCAがあります。パレスチナ側には、ガザYMCA(ガザ地区)東エルサレムYMCA(ヨルダン川西岸地区)が、イスラエル側には、エルサレム・インターナショナルYMCAがあります。いずれのYMCAも紛争下にあるこの地域の平和を願い活動を行っています。

● ガザYMCA (ガザ地区)

2008年12月にも、ガザ地区へのイスラエル軍の攻撃があり、1,404名の命が奪われ、5,380名が負傷しました。このうち約3割が子どもであり、多くの子どもたちは心にも傷を負い、恐怖心、敵対心、不眠、体調不良等の影響が深刻に見受けられました。ガザYMCAは、世界各国から寄せられた募金をもとに、仮設シェルターの建設、生活物資の配給、子ども達のアートや手芸、レクリエーションを通してトラウマを癒す活動を行ってきました。



↑ガザY 幼児プログラム



● 東エルサレムYMCA (ヨルダン川西岸地区)



紛争や不当な逮捕などによって心身に傷を負う青年達に、カウンセリングやリハビリテーション・プログラムを提供しています。また、職業訓練学校の運営や女性のための収入向上プログラム、エルサレムとヨルダン川西岸の子ども達の交流プログラム、オリーブ植樹キャンペーンなどに取り組んでいます。

← パレスチナの子ども達のエルサレム(イスラエル側)訪問プログラム

● エルサレム・インターナショナルYMCA

イスラエル側にあるYMCAとして、イスラエル人とパレスチナ人の対話の場を設け、双方の憎しみを断ち切ろうと取り組んでいます。今年の8月には、エルサレムに住むイスラエル人とパレスチナ人の高校生たちによるYMCA・エルサレム・ユース・コーラスが、日本の音楽関係者の招待により、東京と京都でコンサートが予定されています。

←募金は、郵便振替用紙をご利用下さい。

左の記入例をご参考にして下さい。

皆さまから寄せられた募金は、公益財団法人日本YMCA同盟を通して世界YMCA同盟に送金され、世界中から寄せられる募金とともに、ガザYMCAの活動に用いられます。

※欄は、送金される金額をご記入下さい。



02	払込取扱票	通常払込料金 加入者負担
022909	54655	金額 ※
盛岡YMCA		振替払込請求書兼受領証
パレスチナ・ガザ地区緊急支援募金		022909
020-0015 岩手県盛岡市本町通3-1-1 STマンション1F		盛岡YMCA
盛岡 太郎		※
		盛岡太郎

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 7月報告書

いよいよ夏本番！梅雨入りしたのにも関わらず、暑い日が続いた宮古では、6月28日（土）、29日（日）の両日で花の苗木を仮設の方々にお届けにあがり、共に作業をする活動出来ました。これは横浜YMCAのスタッフ、リーダー、大学生、高校生が8名が宮古に入り行ったものです。昨年と同様に行った活動ですので、1年ぶりの再会を果たした形となりました。花で結ばれた宮古での活動。共に協力し合い、笑顔で行う作業！みんなの生き生きとした顔が印象的でした。突然の雨に関わらず、一緒に活動してくれた岩手大学の学生5人にも感謝です。一緒に活動できる喜びを噛みしめ、そして、新たな出会いに今後の結びつきがまた生まれた瞬間でもあります。

7月に入ってから台風の影響でアドベンチャーが中止となり、申し込んでくれた子どもたちの悲しむ顔が思い浮かびます。また次の活動に参加してほしいと願うばかりです。かといってそれだけではありません。7月14日（月）には、「みやぎびっきの会」主催のハワイの子どもたち10名

（13歳～19歳）参加の交流会を河南仮設、宮古第二中学校の生徒たち、そして二中仮設で行うことが出来ました。河南仮設では、新聞紙で作る手さげ袋作りに挑戦したり、ハワイの子どもたちからは毛糸を指で編み、簡単レースづくりをしたり、フラダンス、歌などを楽しみました。第二中学では、フラダンス、歌、民族踊り等を披露し、第二中学の生徒たちは応援を披露し共に交流の場を設けることが出来ました。今もなお続く被災地の方々との交流の場。仮設で暮らす方々の少しばかりの安らぎとなってほしいという願いと、今後も宮古を忘れず足げ無く通ってくださることを願い、手を振るばかりです。

さあ、夏に向け子どもたちの笑顔をたくさん見れるよう全国からの応援で駆けつけてくれるスタッフ、リーダーと共に力を合わせ頑張っていきます。皆さんの応援もよろしくお願いたします。

宮古ボランティアセンターセンター長 斎藤 勉

花の苗木 お届けします



ハワイの子どもたちと 交流会

宮古での活動実績
（6月末日のべ人数）
☆受益者数 75人
☆ボランティア数 29人、59人、6人



6月アドベンチャー テントに泊まろう！！

朝から元気いっぱい!!なんと33人もの子どもたちと、7人のリーダー、2人のスタッフ…総勢42人での1泊アドベンチャーとなりました☆バスではみんなで歌!!歌!!歌!!いろいろな歌をみんなで元気に歌いながら、県民の森へ到着!!早速グループに分かれテントを、あでもない、こうでもない協力して考えながら立てました♪その後は「世界一のキャンパーを目指せ!!」というプログラム!!グループごと一生懸命に8つのミッションをクリアしていききました!!そのご褒美に看板をGET!!それぞれグループごとにテントにたてかける看板をせっせと書いていました☆その後は皆で夕食作り!カレー・スープ・サラダを作るチームに分かれ初めての包丁を経験する子、火たき、まき割りなどキャンプの醍醐味を味わいながら楽しく作りました☆夜は…もちろんキャンプファイヤー!!火の神がやって来て、一緒に歌って踊って騒ぎまわりました♪また、星がとてもキレイで、寝ながら流れ星を探したりと素敵な思い出ができました☆

2日目。朝から少し雨が…。朝のつどいは行わず、各テントでフリータイム!雨に負けず、各テントから歌声や元気におしゃべりする声が響き

渡っていました!朝ごはんを食べ、再びフリータイム!!雨もやみ始め、外で虫取りに専念する子、歌って踊って楽しむ子、お昼ごはんの準備を手伝うなどと楽しみました!!そうして広い広場に移動し、最後の食事♪いろんな形のおにぎりがあり、見てみて!!と言いながら最後も楽しくいただきました♪午後は最後のフリータイム!!探検に行く子たち、丘で高跳びをして遊んだり、戦いごっこをしたりと、泥だらけになるほど、遊びつくしました!!そんな楽しい時間はあっという間に過ぎ、バスに乗り、県民の森を出発!!バスでも最後まで元気に遊んできました!!今回のキャンプは子どももリーダーも42人全員で作上げた最高のキャンプになったと思います☆またみんなに会えるのが楽しみです☆

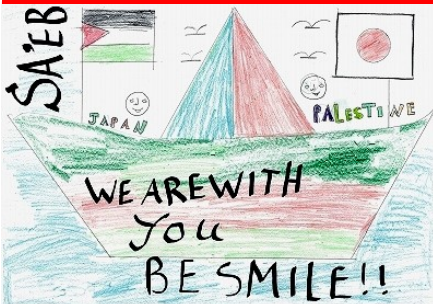


岩手大学教育学部3年 武田 悠（ゴリナリーダー）

8月・9月の予定

- ★8月1日(金)～4日(月)
サッカーキャンプ
(於: いこいの村岩手)
 - ★8月4日(月)～6日(水)
宮古ボランティアセンターサマーキャンプ
(於: 秋田県思い出の潟分校)
 - ★8月6日(水)～9日(土)
男鹿なまはげキャンプ
(於: 男鹿市HOTEL
きららかキャンプ場)
 - ★8月7日(木)～9日(土)
森の大自然満喫キャンプ
(於: 外山森林公園)
 - ★8月8日(金)～12日(火)
宮古ボランティアセンター水泳教室
(於: 宮古市津軽石小学校)
 - ★8月9日(土) 18:30～
ワイズメンズクラブ納涼例会
(於: きのえね本店)
 - ★8月10日(日)～12日(火)
田沢湖わくわくキャンプ
(於: 秋田県 思い出の潟分校)
 - ★8月31日(日)
アドベンチャー「小川で遊ぼう」
(於: 葛根田川)
- 〇8月13日(水)～17日(日)
盛岡YMCA休館

表紙の写真から



表紙の絵は、2011年東日本大震災の後、ガザの子ども達から届いた励ましのメッセージです。「私たちは、あなたたちと一緒にいます。微笑んで!!!」

イスラエルとパレスチナ自治区を合わせた面積は、ちょうど岩手と秋田をあわせたくらいの広さです。ガザ地区の面積は、盛岡市の半分にも届きません。この、小さな地域が今、大きな困難に直面しています。

もう一枚送られてきた絵を紹介しましょう。難民キャンプの様子を描いてくれた絵です。アラビア語で、「私には生きる権利がある」と書いてあるそうです。



君でいいんだよ ～JUST THE WAY "YOU" ARE②～

10年、20年後の社会は、ソーシャルネットワークサービスの普及により、より世界は身近なものになっていることでしょうか。

子ども達の未来にとって大きなテーマは、「違いを越える」ことだと思います。今でも政治体制、文化、宗教、習慣等様々な違いの中に私たちは生きています。あまりにも大きなテーマで気が遠くなってしまいがちですが、私たちにできることは、日常の些細な出来事の中で「違い」を克服していくことだと思います。

私たちは生活のいたるところで、「あの人はこう言った。」「この人のこうした態度は許せない」といついつ、他者を非難してしまうことが多いのではないのでしょうか?。しかし、他者を非難する前に、「何故?」と一度立ち止まって考えてみる必要があります。きっとその人なりの理由が

あるに違いありませんし、勘違いということもあるでしょう。偉そうなことを言っていますが、私は些細なことですぐに腹をたてて、家族はもちろん、スタッフやリーダーに非常に迷惑をかけているのですが…。

さて、夏のキャンプが始まりました。きっと、あっちのテント、こっちのテントで小さな「行き違い」が頻発しているに違いありません。でも、そのひとつひとつの「行き違い」の中で自分が他者と違うこと、他者も自分と違うことに気づき、他者を理解することを学んでくれていると思います。こうした、小さな「違い」の克服の積み重ねが「生きる力」なのかもしれません。そうした「生きる力」を獲得した子どもたちが、平和な社会を築いていくのだと思います。

(盛岡YMCA総主事 濱塚 有史)



もりおかワイズメンズクラブ便り No.1



は、150を超えるクラブがあり約3,000人が活動しています。もりおかワイズメンズクラブは、2007年に設立され、毎月第2土曜日に例会を行っています。

写真は、7月12日に行われた例会の様子です。この日は、長い間、産婦人科で医療に携わってこられた、吉崎陽医師をお迎えし、「いのち」についてお話を頂きました。、医学の進歩の状況、倫理の問題、AIDSの問題などプロジェクターを用い、分かりやすくお話いただきました。

今回は、サマーキャンプを前にした、「リーダートレーニング」も兼ねており、出席した、リーダー達は熱心に耳を傾けていました。

ワイズメンズクラブは、大人のボランティアの集まりです。関心のある方は、是非お気軽にYMCAまで (019-623-1575) お問い合わせ下さい。

ワイズメンズクラブは、「YMCA」の活動を支援することを第1の目的として、地域・国際社会に奉仕する国際的なボランティア団体です。日本に

6月森のようちえん ピクニックへいこう♪おでかけキッズ☆

こんにちは(´o`)つづ貝です!!!盛岡YMCAで今年度から新しく始まった活動、「森のようちえん」が6月も行われました!6月は、「ピクニックへいこう♪おでかけキッズ☆」ということで6月15日に盛岡市子ども科学館隣の中央公園に言ってきましたよ☆子ども2人、リーダー8人、スタッフ1人の計11人で広い原っぱの上で思いっきり遊んできました!!!

行き帰りは、みんな自分の足で歩いて公園までいきました!途中でカラフルな毛虫に出会ったり、川で大きな魚を見つけたり、鼻穴みたいなトンネルを通ってみたり、たくさん発見がありました!!!公園では、原っぱの上でしっぽ取りゲームや陣取りゲーム、鬼ごっこをしていくうちにみんな仲良しに♪ピクニックということでお外で食べるお昼ご飯はとってもおいしかったです!午後からは、ティラノサウルス対ゾンビの戦いごっこをしました!たっくん原っぱで駆け回っ

て駆け回って笑って、みんなで思いっきり遊びました!

次回森のようちえんは9月7日に「水とあそぼう♪びしょぬれキッズ☆」が行われます!みなさんの参加お待ちしております!!!

盛岡大学児童教育学科3年 小野寺 百恵
(つづ貝リーダー)



感謝

(2014年度
7月4日現在)
順不同・敬称略

●維持会費

今野聖子、今野健男、角谷晋次、角谷千代子、光永尚生、朴正弘、濱塚有史、濱塚真美、井上修三、井上浩太郎、井上優子、伊藤克見、大関靖二、工藤直子、佐藤翔、川坂保宏、及川茂夫、及川恵、名古屋恒彦、熊谷力貴(株興和電設、小畑孝子、田村治之、水田賢次、南原良哉、一戸貞文、小関悦子、阿部靖、川守田浩、金田節子、金野東輝子、森山日菜乃、森山幹大、滝川佐波子、押切梓

●寄附金

角谷晋次、光永尚生、朴正弘、濱塚有史、佐藤翔、及川茂夫、熊谷力貴、水田賢次、南原良哉、中村恵美子

●東日本大震災被災地支援募金・献品

林辰也、佐々木翔一朗、佐々木朗人、港凱理、岩井和己、学校法人広島YMCA学園、小畑孝子、日本キリスト教団内丸教会、NPO法人茨城YMCA、吉崎陽